ＣＳＲ活動

～社会から信頼される企業を目指して～

- トップメッセージ
- ガバナンス
- 品質方針
- 品質への取組み
- 環境方針
- 環境に対する取組み
- 社会貢献活動
- コンプライアンスの推進
- ＳＤＧｓ宣言

トップメッセージ

１９５０年に鉄構製品の生産を開始し、その後ＬＰガス容器およびＦＲＰ製品を加えて以来、当社は“鋼とアルミと強化プラスチック”という現代を支える素材を駆使して効率的でより安全な“器”づくりを追求してまいりました。同時に、急激な技術革新と時代の趨勢に対応し、社会におけるさまざまなニーズにお応えするよう事業の展開に努めてまいりました。

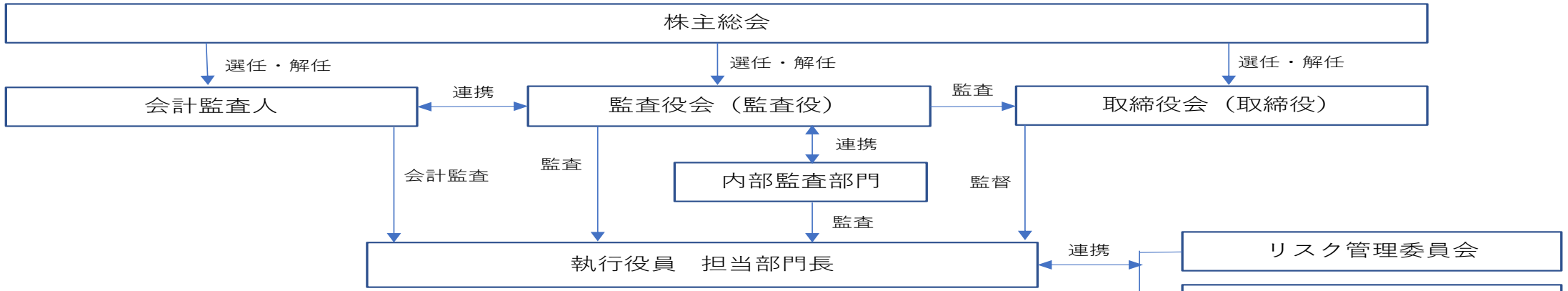
一方で、環境と企業の調和を図っていくことの責務を認識し、環境保全に対する活動を強化し２００８年環境マネジメントの国際規格「ＩＳＯ１４００１」の認証を取得しました。今後とも、従来の取組みに加え持続可能な開発目標ＳＤＧｓのゴールを見据えてこれまでの環境をはじめとする活動を一層推進することで、社会からより信頼される企業を目指していく所存です。

何卒、今後一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　野村實也

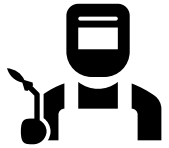
ガバナンス

企業経営の適正性と効率性を確保することを意識し、経営の透明性と健全性を充実させるとともに、経営環境の変化に迅速に対応できる体制の確立に努め、企業価値を高めることを基本方針としております。



当社の取締役会は、現在において取締役５名（うち社外役員１名）で構成されており、経営の監督強化を図っております。取締役会は原則月１回開催し、重要事項の決定及び業務執行の監督を行っております。また、執行役員制度を採用しております。当社は監査役会設置会社であり、監査役会は、現在において３名（うち常勤監査役１名）で構成されており、うち２名が社外監査役であります。監査役は、取締役会をはじめ社内の重要会議に出席し、業務執行及び企業活動の適法性、妥当性について監査しております。

品質方針



当社では、「取引先、株主、従業員、地域社会から、信頼され、愛され、共に歩む企業であること」を経営理念としています。この理念に基づいた企業活動の実践を目的に、次の方針のもとに、真に有効な品質マネジメントシステムの構築を目指します。

① 満足される“性能”、信頼される“品質”、納得される“価格”、これらを備えた製品のスピーディーな提供に取り組み、これによって顧客満足度の向上を図ります。

② 顧客からの要求、法令・規格等の要求、社内規定の要求等、諸要求事項の遵守に努めます。

③ 品質目標を定め、それの達成に行動力をもって邁進します。

④ 常にＰ（計画）・Ｄ（実行）・Ｃ（検証）・Ａ（改善）サイクルを念頭に置きながら、たゆむことなく継続的改善を推進します。

品質への取組み

効率的で安全な“器”づくりを追及するとともに、蓄積された技術を駆使してさまざまなニーズにお応えできるような事業展開に努めております。

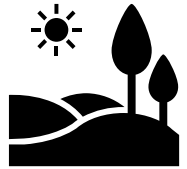
１９５５年の生産開始以来、常にＬＰＧ容器のトップメーカーとして業界をリードし、７０年にわたって６０００万本をこえる製造実績に裏付けされた確かな信頼。品質マネジメント（※）を確立し、高い品質と安心を造りこんでまいります。

（※）ＩＳＯ９００１：２００８／高圧機器製品の設計及び製造について、認証取得

次世代容器 プラコンポ
PLACOMPO
Next-generation
LPG composite cylinder

新たな機能を有した液化石油ガス用オールプラスチック製複合容器（コンポジット容器）充填量２０kg型容器（プラコンポ２０kg容器）は、使用期限２０年に延長及び容器再検査の期間を５年とする特別認可を取得し市場供給を開始しました。当該容器は、当社が国内で初めて製造・販売開始したもので、今後器種を追加し従来製品との相乗効果を見込みつつ近い将来においてコア製品の一つとすべく売上拡大に努めます。

環境方針



当社は、事業活動と環境との関わりを適切に認識し、環境に調和した持続可能な社会の構築を目指した活動を推進します。

①　環境に関連する法規制その他の要求事項を遵守します。
②　事業活動に伴う環境負荷の低減と汚染の防止を図ります。
③　環境に配慮した商品の設計・開発を通じて、環境保全に取組みます。
④　環境目標に取組むとともに、環境パフォーマンスの向上のための継続的な改善に取組みます。

改定　2019年2月1日
代表取締役社長　野村實也

［適用範囲］
中国工業株式会社　本社
広島県呉市広名田一丁目3番1号
活動、製品サービスで特定される範囲：
1.　高圧機器の設計・製造
2.　鉄構機器の設計・製造
3.　施設機器の設計・製造及び据付
登録された環境マネジメントシステムに含まれる組織等
本社　　鉄構機器部
高圧機器工場　　施設機器部

環境に対する取組み

事業活動と環境との関わりを適切に認識し、環境に調和した持続可能な社会の構築を目指した企業活動の実践に努めます。

①　具体的な環境目標・エネルギー削減及び廃棄物削減の目標を定め、定期的に開催される環境会議にて進捗状況を確認しています。

2022年度環境目標への取組み

フルオロカーボン容器の表面処理剤変更によるエネルギー削減	高圧機器工場
高圧機器工場のリン酸亜鉛皮膜処理の低コスト化	高圧機器工場
高圧機器工場のボイラ熱料転換によるCO^2排出量削減	高圧機器工場
高圧機器工場のエアー漏れ箇所の修繕によるエネルギー削減	高圧機器工場
鉄構機器部の工場建屋の壁面投光器のLED化（14灯）	鉄構機器部
搬送機工場のプレス機器撤去跡地の整備のよるスペース有効活用	鉄構機器部
FRP機器積層作業場の投光器・蛍光灯のLED化（14灯）	施設機器部
不要コンテナ・倉庫の撤去等によるスペース有効活用	施設機器部
第２工場２階事務所の蛍光灯のLED化（20灯）	事業開発部
原価システム導入に伴う紙使用枚数削減	経営管理部

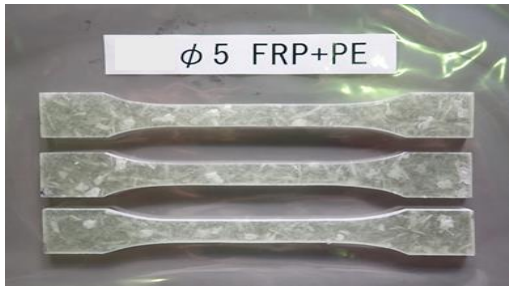
②　ＦＲＰ製ＬＰガス容器の効率的・効果的なリサイクル方策に関する研究

ＦＲＰ、金属、熱可塑樹脂といった材料の複合物であるＦＲＰ製容器を素材ごとに効率的に分離して効果的にリサイクルする手法を開発し、ＦＲＰ容器の全リサイクルを目指す。なお、この技術は既存の多種多様なＦＲＰ製品廃棄物への展開も期待できる。

効率的に切断することにより、ほぼ狙った粒径の粉末状に粉砕することができた。また、粉砕後のＦＲＰとＰＥの混合物を分別することで、各素材ごとに分離することが可能。

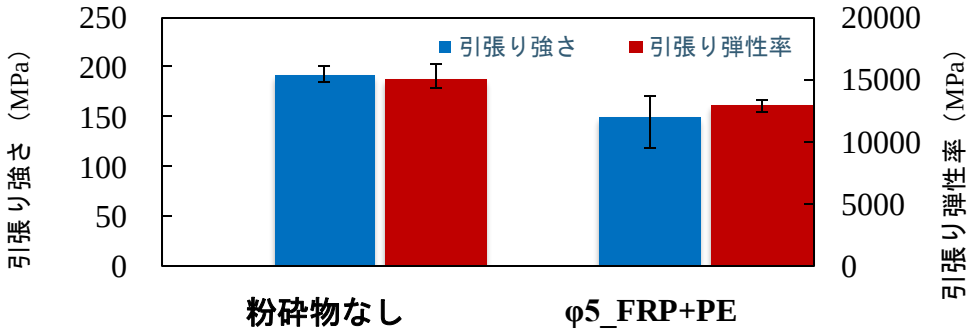
FRP容器の切断・分離

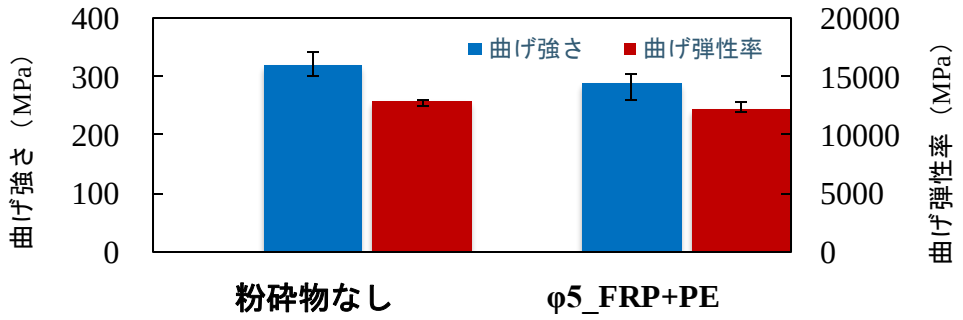
FRPとPEの粉砕混合物
（φ5スクリーンにて粉砕）



FRPとPEの粉砕混合物をフィラーとして
用いて再成形したFRP試験片

今回、ＦＲＰとＰＥの混合物をそのままフィラーとしてＦＲＰに再成形した場合の強度評価を実施し、バラつきはあるもののおおよそ８割程度の強度が保持できることを確認。（グラフ参照）





社会貢献活動

地域との絆を深め、地域に貢献し、地域の皆さまから愛されることを目標にしております。

- 社外清掃

毎年５月・１１月の年２回、当社工場周辺の除草や側溝の清掃を実施しております。

- 消防団協力事業所の認定

消防団協力事務所としての認定を受けています。消防団に入団の従業員には勤務に優先して活動してもらっています。

- 献血の実施

定期的に献血を実施し、毎回３０名程度の参加を得ております。

- 災害時における物資の供給態勢の確保

災害発生時にＬＰガス容器を迅速に供給することについて、広島県と協定を締結しております。

コンプライアンスの推進

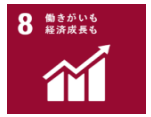
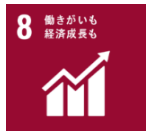
一人ひとりのコンプライアンスの意識を高め、法令・社会規範の遵守に努めます。

当社及びグループ各社の一人ひとりがコンプライアンスを心掛ける基準・指針として、制定した「グループ行動基準」及び「グループ行動規範」を当社グループの役員及び社員に対し周知活動を行うとともに、コンプライアンス推進委員会を開催し、グループ各社のコンプライアンス遵守状況についてのレビューを行い、疑念をもたれる行動がないことを確認しております。

また、コンプライアンスに係る相談・通報体制を構築し、運用しております。

SDGs宣言

法人として・一人ひとりとして地球環境における次世代への責任を認識し、日々の企業活動を進めてまいります。

人権 労働	適切な休暇制度、過度な長時間労働の禁止 ハラスメントについて就業規則に明記・相談窓口を設置	
環境	ＩＳＯ 14001の取得、環境マネジメント実施 有害物質を含む廃棄物の種類・量の把握、定期的進捗管理 温室効果ガス排出量削減を意識した設備の更新 省エネに向けた計画の策定と推進、リサイクル技術の開発	
公正な 事業慣行	不正競争行為を含む行動規範の整備・社内周知 特許取得・意匠登録のよる知的財産権の管理	
製品 サービス	ＩＳＯ 14001の取得、品質マネジメントの実施 顧客クレームの把握・社内周知・対応の徹底	
組織体制	経営理念・環境方針の策定と周知 環境管理部署・責任者の設置	